



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2023年9月13日

国連世界観光機関 (UNWTO) ツーリズムハイライト (2023年) を発行しました

国連世界観光機関 (UNWTO) はこのほど、国際観光の概要を紹介する冊子「ツーリズム・ハイライト(2023年)」を発表しました。3年ぶりに発行となる今号は、2020年～2022年のCOVID-19が観光に与える影響についてまとめた内容になっています。

ツーリズムハイライト(2023年)目次

- 主な洞察
- パンデミック以前の観光：成長と発展の原動力
- 2020年：世界の観光にとって過去最悪の年
- 2021年：観光にとって再び困難な年
- 2022年：規制緩和による力強い回復
- パンデミックの経済的影響
- 地域別実績（ヨーロッパ、アジア・太平洋地域、米州、アフリカ、中東）
- 世界上位のデスティネーション（国際観光客到着数・国際観光収入）
- アウトバウンド・ツーリズム
- パンデミックにおける消費者行動の変化
- 旅行の目的と交通手段
- 統計資料
- 方法論的記述

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

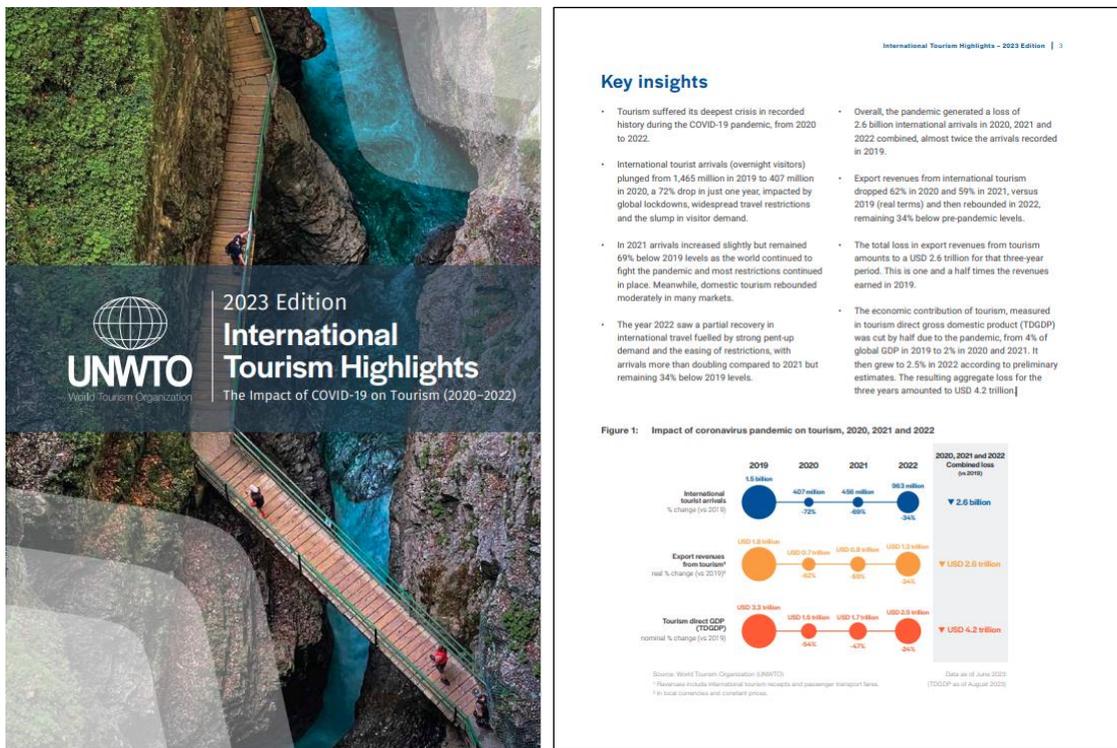
Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org



主なハイライト ※「ツーリズム・ハイライト(2023年)」(英語版)から抜粋

- 観光は、2020年～2022年の間、COVID-19のパンデミックにより、観光史上最悪の危機を迎えた。
- 国際観光客到着数(一泊以上の訪問客)は、2019年の14億6,500万人が2020年には4億700万人となり、世界的なロックダウン(都市封鎖)、渡航制限の広まり、観光需要の低迷が影響して、僅か1年で72%減となった。
- 2021年の到着数は、世界がパンデミックと戦い、殆どの規制が継続して実施されたため、僅かに増加したものの2019年の水準を69%下回った。一方、国内観光は多くの市場で緩やかに回復した。
- 2022年は、底堅い繰越需要と規制緩和によって国際観光は部分的に回復し、到着者数は2021年比で2倍以上となったが、2019年の水準を34%下回った。
- 全体として、パンデミックは2020年、2021年及び2022年を合わせて26億もの到着数を失った。これは2019年に記録された到着数のほぼ2倍に相当する。
- 観光輸出収入(国際観光による輸出収入)は、2019年(実質ベース)に対して2020年に62%減、2021年に59%減となった。その後2022年に回復を見せたが、パンデミック前の水準を34%下回ったままである。
- 観光輸出収入の損失総額は、この3年間で2兆6,000億米ドルに達する。これは2019年に得られた収入の1.5倍である。
- 観光GDPで測定される観光の経済貢献は、2019年には世界全体のGDP4%だったが、パンデミックによって2020年と2021年において2%までに半減した。しかし、その後、暫定的な試算によれば、2022年には2.5%に成長した。結果として、3年間の損失総額は4兆2,000億米ドルに達した。

「ツーリズム・ハイライト(2023年)」イメージ



こちらのリンク又はQRコードからダウンロードいただけます（無料）

<https://www.e-unwto.org/doi/epdf/10.18111/9789284424504>



※日本語版は完成次第、UNWTO 駐日事務所のウェブサイトへアップロード

いたします。 <http://unwto-ap.org/>

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

○国連世界観光機関（UNWTO）について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所は、UNWTO の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、

英語でお問合せください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所

（一般財団法人アジア太平洋観光交流センター）

担当：吉田

電話：0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org